

今月のトピックス

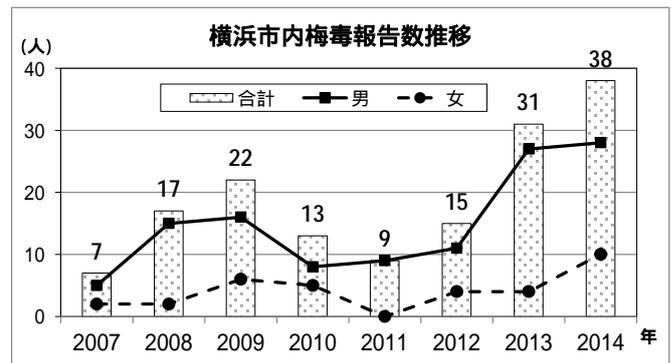
- Ⅰ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が多い状況が続いています。
- Ⅰ 梅毒の報告が近年増加傾向です。

全数把握の対象

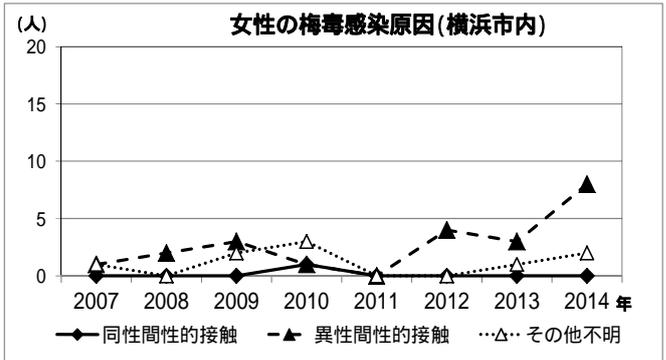
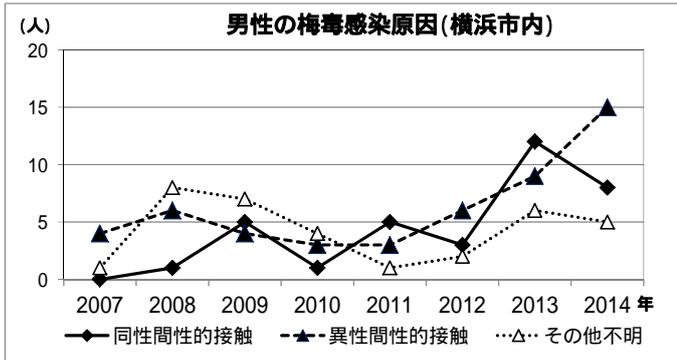
【3 月期に報告された全数把握疾患】

コレラ	1 件	急性脳炎	1 件
パラチフス	2 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件
E 型肝炎	2 件	後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)	8 件
レジオネラ症	3 件	侵襲性肺炎球菌感染症	6 件
アメーバ赤痢	6 件	梅毒	3 件
ウイルス性肝炎	1 件	風しん	1 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 件	麻しん	1 件

- 1 コレラ: 1 件の報告がありました。フィリピンでの経口感染が推定されています。
- 2 パラチフス: 2 件の報告がありました。どちらもミャンマーでの感染が推定されています。
- 3 E 型肝炎: 2 件の報告がありました。どちらも国内での経口感染が推定されています。1 件では豚生レバー喫食歴が確認されています。E 型肝炎の感染経路は、いわゆる途上国では患者の糞便中に排泄されたウイルスによる経口感染が主で、時に飲料水を介する大規模集団発生が報告されています。一方、日本をはじめ世界各地では、E 型肝炎は動物由来感染症として注目されています。ブタの E 型肝炎ウイルス (HEV) 感染が世界各地で報告されており、日本国内の調査でも 2~3 か月齢のブタの糞便から HEV 遺伝子が高率に検出され、出荷時のブタ (6 か月齢) の抗体保有率は 90% 以上でした。HEV 遺伝子は、出荷されているブタレバーからも検出されており、注意が必要です。  
E 型肝炎 (国立感染症研究所)
- 4 レジオネラ症: 肺炎型 3 件の報告がありましたが、それぞれ明確な感染経路等不明です。各症例について引き続き感染経路等調査中です。
- 5 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症 5 件と腸管外アメーバ症 1 件の報告がありました。腸管アメーバ症の 5 件のうち 4 件は国内での性的接触 (うち同性間が 1 件、経口・異性間が 1 件、詳細不明が 2 件) による感染でした。残る 1 件は感染経路等不明でした。腸管外アメーバ症の 1 件はタイでの同性間性的接触による感染でした。
- 6 ウイルス性肝炎: B 型肝炎の報告が 1 件ありました。性的接触による感染が推定されています。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 1 件の報告がありましたが、院内集団感染等はありませんでした。
- 8 急性脳炎: 1 件の乳児の報告がありました。アデノウイルスによる感染が推定されています。
- 9 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 2 件の報告があり、1 件は 40 歳代で血清型は A 群 (咽頭炎からの移行が疑われています)、もう 1 件は 70 歳代で血清型は G 群 (感染経路等不明) でした。
- 10 後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む): 無症状病原体保有者 5 件、AIDS 2 件、その他 1 件の報告がありました。6 件は国内での同性間性的接触、1 件はタイでの異性間性的接触、残る 1 件はインドでの感染が推定されていますが感染経路不明でした。
- 11 侵襲性肺炎球菌感染症: 6 件 (70 歳代以上 3 件、60 歳代 1 件、10 歳代 1 件、幼児 1 件) の報告がありました。幼児は 3 回ワクチンを受けていましたが、他は予防接種歴を確認できませんでした。
- 12 梅毒: 無症候期が 2 名 (どちらも性的接触による感染で、1 件は同性間、もう 1 件は詳細不明)、早期顕症梅毒 期が 1 件 (同性間性的接触) の報告がありました。すべて国内での感染が推定されています。梅毒は全国的に増加しており、厚生労働省では注意喚起のために「[梅毒に関する Q&A](#)」をホー



ムページに掲載しています。横浜市内でも近年男女とも増加傾向にあり、男性では同性間性的接触、異性間性的接触ともに増加傾向にあります。



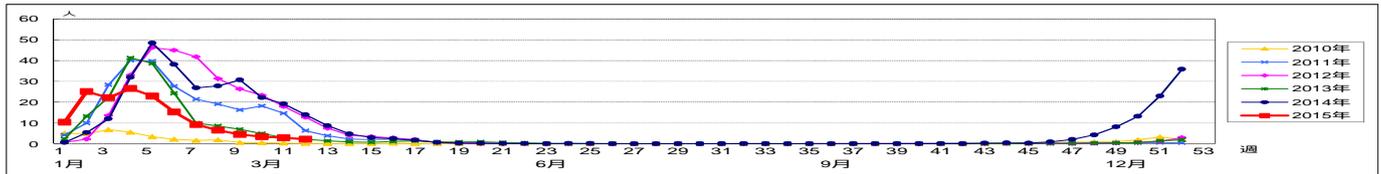
13 風しん:40 歳代男性の報告が 1 件(臨床診断例)ありました。ワクチン接種歴はありませんでした。

14 麻しん:30 歳代男性の報告が 1 件(検査診断例)あり、インドネシア(バリ島)での感染が推定されています。ワクチン接種歴はありませんでした。近年海外で感染した人から国内に感染が拡大する事例が報告されているので注意が必要です。

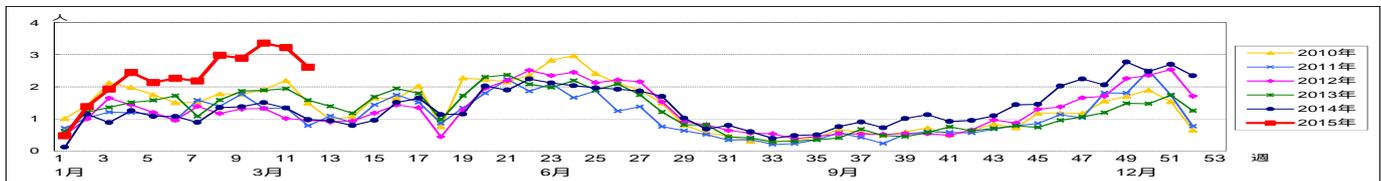
### 定点把握の対象

1 インフルエンザ:第 12 週は市全体で定点あたり 2.15 と、減少が続いています。

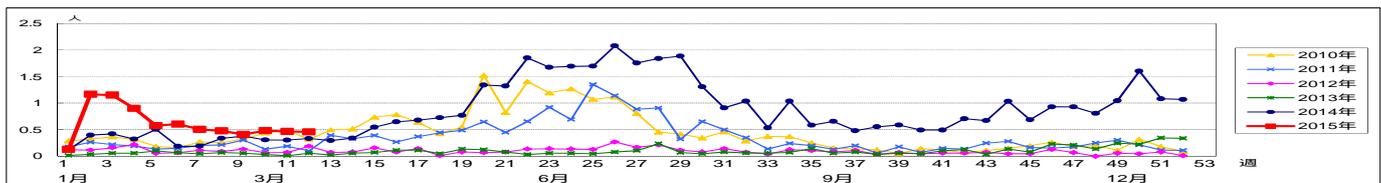
平成 27 年 週 - 月日対照表	
第 9 週	2 月 23 日 ~ 3 月 1 日
第 10 週	3 月 2 日 ~ 8 日
第 11 週	3 月 9 日 ~ 15 日
第 12 週	3 月 16 日 ~ 22 日



2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎:第 12 週は市全体で定点あたり 2.61 と、報告の多い状況が続いています。



3 伝染性紅斑:第 12 週は市全体で定点あたり 0.46 ですが、区別では泉区 2.00、瀬谷区 1.50 で報告が多くなっています。



4 性感染症:2 月は、性器クラミジア感染症は男性が 30 件、女性が 11 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 5 件、女性が 16 件です。尖圭コンジローマは男性 4 件、女性が 2 件でした。淋菌感染症は男性が 15 件、女性が 2 件でした。

5 基幹定点週報:マイコプラズマ肺炎は第 9 週 0.50、第 10 週 0.25、第 11 週 0.33、第 12 週 0.67 と継続的に報告されています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)は、第 9 週 0.50、第 10 週 0.75、第 11 週 0.67、第 12 週 0.67 と報告が続いています。無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

6 基幹定点月報:2 月は薬剤耐性緑膿菌感染症 1 件の報告がありました。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。  
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>